

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が540例(男性261例(10歳代20例, 20歳代55例, 30歳代37例, 40歳代44例, 50歳代34例, 60歳代29例, 70歳代22例, 80歳代8例, 90歳代5例, 年齢非公開7例), 女性270例(10歳代17例, 20歳代58例, 30歳代29例, 40歳代29例, 50歳代37例, 60歳代22例, 70歳代27例, 80歳代29例, 90歳代14例, 年齢非公開8例), 年齢及び性別非公開9例)あり, 本年の累積報告数は745例になりました。
- ・ 政府は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため, 首都圏4都県に続き, 京都・大阪・兵庫の関西3府県を含む7府県に新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言を行いました。
これにより, 京都府では以下のような緊急事態措置がとられています。
 - ・ 不要不急の外出自粛(特に午後8時以降)
 - ・ 催物(イベント等)の開催制限
 - ・ 施設の使用制限等(飲食店等の営業時間短縮要請, 遊技場・劇場等への協力依頼)
 - ・ 職場への出勤等(出勤者の7割削減, 時差出勤の推進等)
 - ・ 大学等への要請(感染防止対策・遠隔授業等による学修機会の確保, 感染リスクの高い課外活動の自粛等)
- ・ **新型コロナウイルス感染症**を広げないために, 手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策が重要です。
 - ・ まめに手を洗いましょう。石けんを使ってよく泡立て, 流水でよくすすぎましょう。
 - ・ 新型コロナウイルスに限らず, 病原体は主に口・鼻・目から体に入ります。
外出後や咳の後は特に, 口・鼻・目に触る前に手洗いを徹底しましょう。
 - ・ 自分が感染者の場合, 咳やくしゃみを手で押さえると, 手で触ったものにウイルスが付き
他の人にうつす可能性があります。口や鼻をティッシュで覆うなど, 咳エチケットを守りましょう。
急に咳が出てしまう時は, しぶきが飛ばないように服の袖や肘を使いましょう。
 - ・ 屋内でのちょっとした会話を含め, 「人との接触を8割減らす」ことで感染拡大が防げるとされています。
 - ・ 3密(換気の悪い密閉空間, 多人数の密集, 近距離での会話(密接)が重なる場所)は特に避けましょう。

詳細につきましては, 下記のホームページを御覧ください。

○新型コロナウイルス感染症に関する京都府の最新情報(京都府ホームページ)

<https://www.pref.kyoto.jp/>

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

京都市で2020年に広報された新型コロナウイルス感染症のPCR検査陽性者数(報告数)は, 3,369例となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ **指定感染症: 新型コロナウイルス感染症 540例**【1月以降の累積報告数 745例】
男, 261例(10歳代20例, 20歳代55例, 30歳代37例, 40歳代44例, 50歳代34例, 60歳代29例, 70歳代22例, 80歳代8例, 90歳代5例, 年齢非公開7例)
女, 270例(10歳代17例, 20歳代58例, 30歳代29例, 40歳代29例, 50歳代37例, 60歳代22例, 70歳代27例, 80歳代29例, 90歳代14例, 年齢非公開8例)
年齢及び性別非公開, 9例

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ ^a	インフルエンザ	0. 01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1. 28	55
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 51	22
	③ 咽頭結膜熱	0. 28	12
	④ 水痘	0. 14	6
	⑤ 突発性発しん	0. 09	4
眼科	流行性角結膜炎	0. 20	2

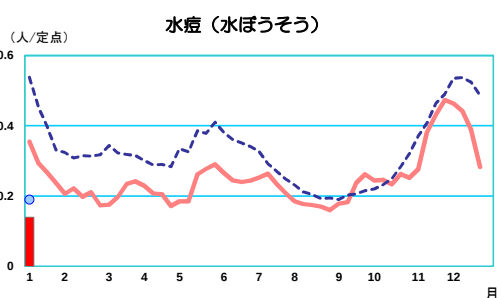
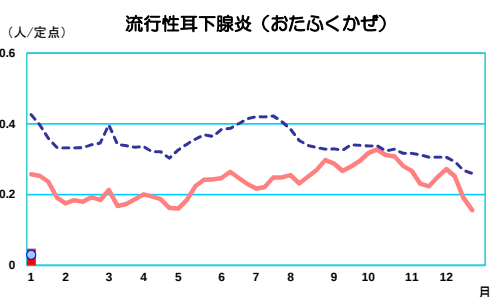
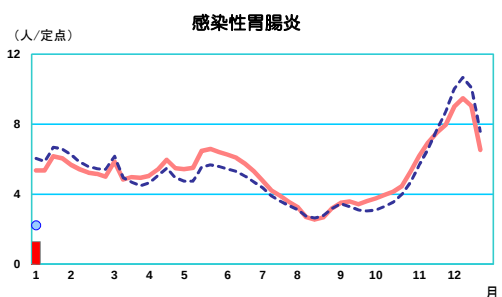
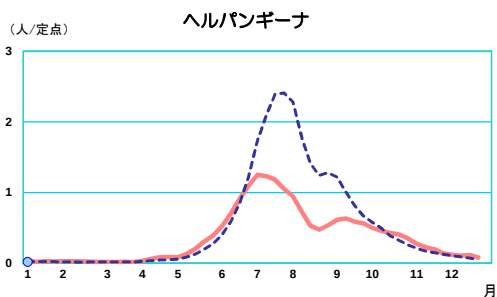
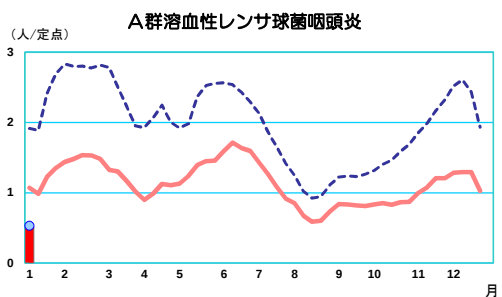
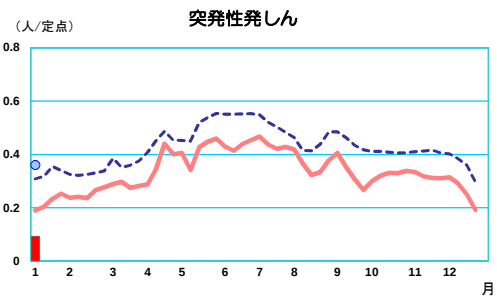
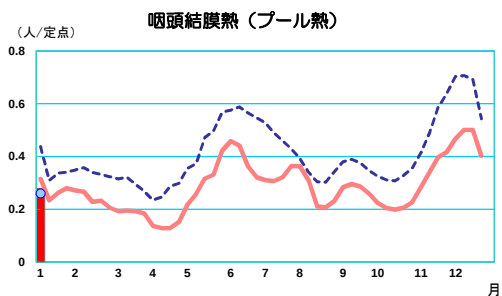
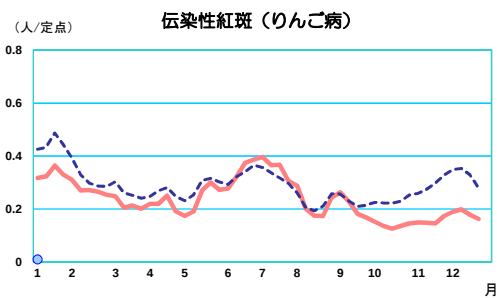
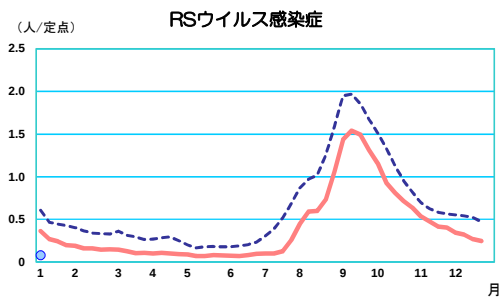
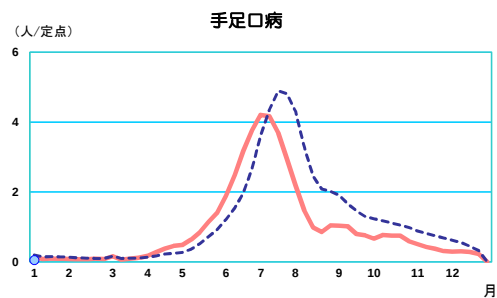
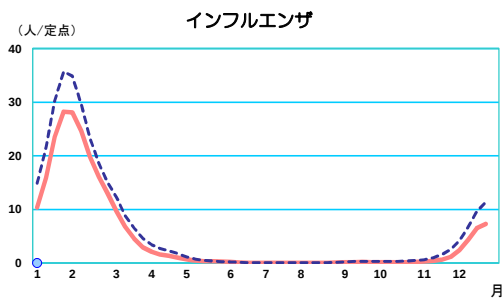
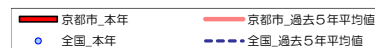
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

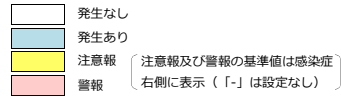
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年1月13日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

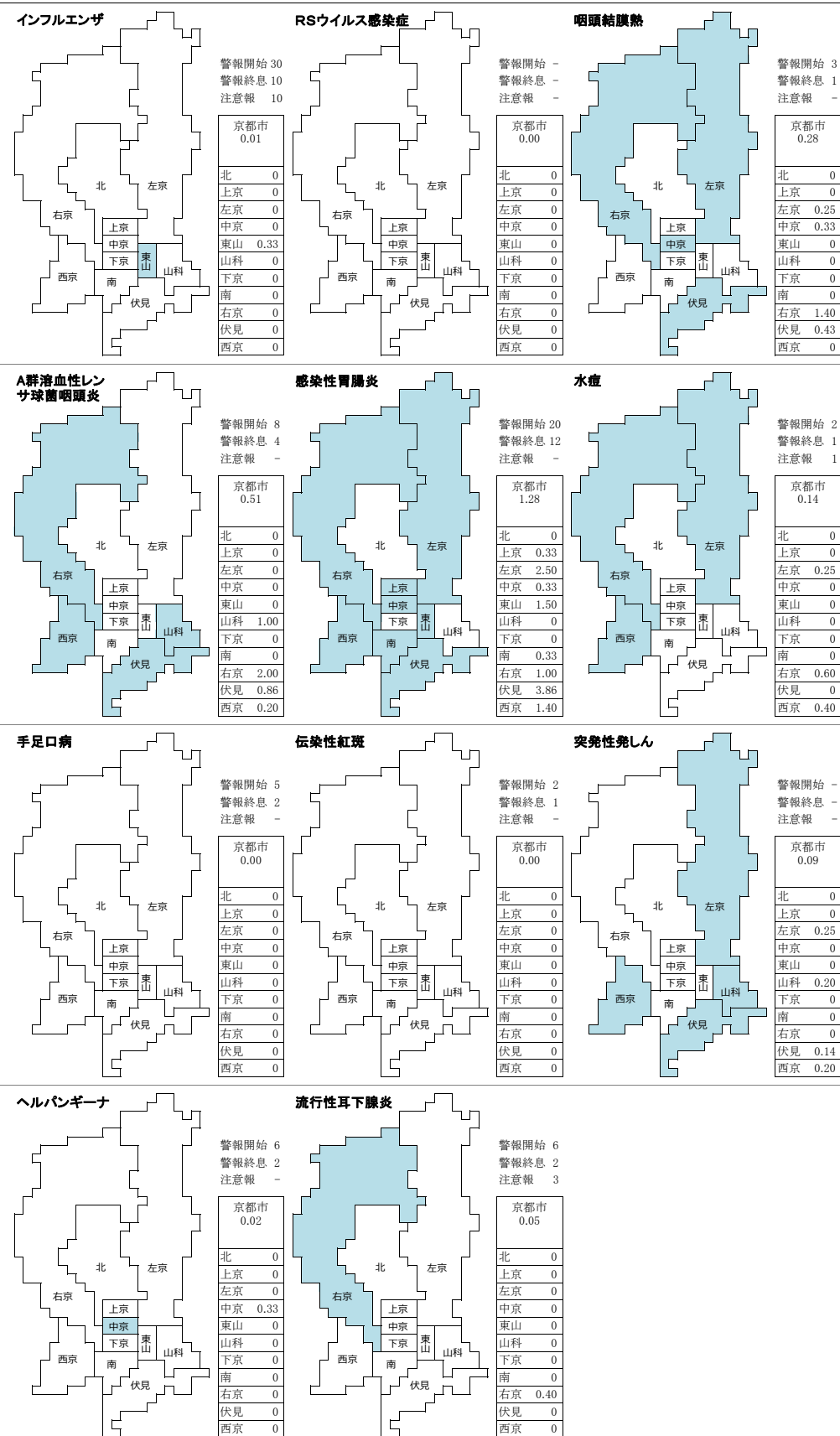
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第1週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第1週(1月4日～1月10日)トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

京都市で2020年に広報された新型コロナウイルス感染症のPCR検査陽性者数(報告数)は、3,369例となりました。報告数を月ごとにみると、1月30日に1例目が報告されて以降、3月からやや増加し、4月に最初のピークがありました。その後減少し、7月から再び急速に増加し、8月には4月の3倍に相当する2回目のピークがありました。9月から10月にかけて再度減少した後、11月から三たび増加し、12月には1,505例の報告がありました。12月の報告数は、4月の約9倍、8月の約3倍となっています(図1)。

これまでの報告を男女別でみると、男性が1,684例(50.0%)に対し、女性が1,610例(47.8%)で、男性の方がやや多くなっています(図2)。年齢階級別・男女別でみると、20歳代が最も多いことは男性と女性で共通しています。女性ではこれに加えて、20歳代の報告が431例(26.8%:性別報告数に対する比、以下同様)と4分の1以上を占めており、他の年齢層に比べて際立って多いのが特徴です。一方、80歳以上では、男性が88例(5.2%)に対し、女性が188例(11.7%)で、高齢者層は女性で多くなっており、男性と女性で発生動向に違いがみられます(図3)。

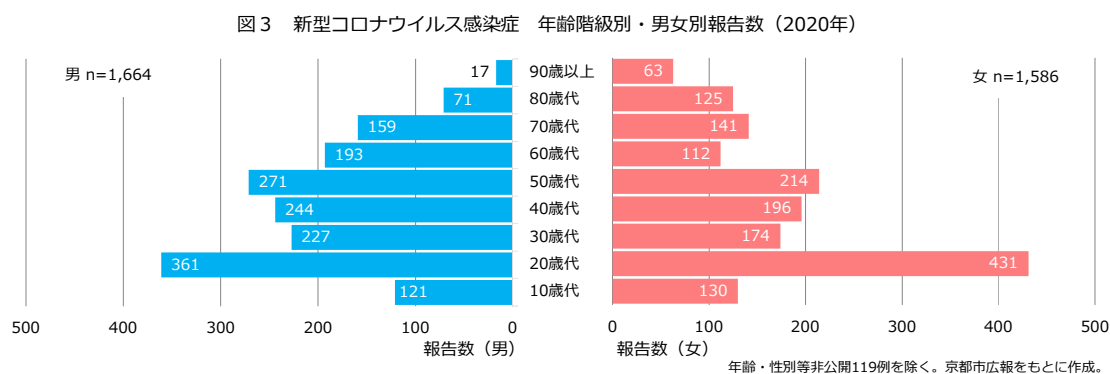
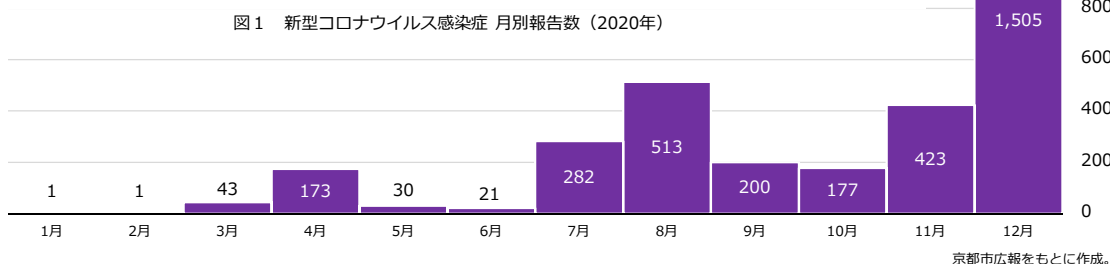
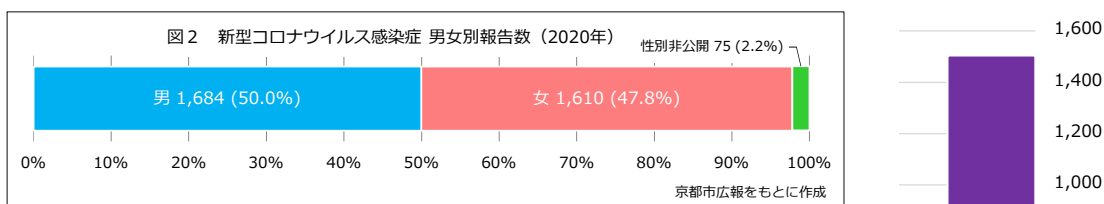
2021年第1週以降も全国的に報告が増え続けていることから、感染拡大を防止するため、政府は首都圏4都県に続いて、京都・大阪・兵庫の関西3府県を含む7府県に新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言を出しました。宣言に伴い、京都府においては以下のような緊急事態措置がとられています。

- 不要不急の外出自粛(特に午後8時以降)
- 催物(イベント等)の開催制限
- 施設の使用制限等(飲食店等の営業時間短縮要請、遊技場・劇場等への協力依頼)
- 職場への出勤等(出勤者の7割削減、時差出勤の推進等)
- 大学等への要請(感染防止対策・遠隔授業等による学修機会の確保、感染リスクの高い課外活動の自粛等)

(参考)新型コロナウイルス感染症に関する京都府の最新情報(京都府ホームページ)

<https://www.pref.kyoto.jp/>

一方、個人や家族では、宣言などに関係なく、手洗い、手指消毒、うがい、マスク着用、人との距離の適切な確保、人混み避けるなどの基本的な習慣や行動が感染予防に最も重要です。一人ひとりが気を付けることで、自分の身を守るとともに感染拡大を防ぎましょう。



発熱等の症状がある場合は？

- ・「熱がある」「体がだるい」「のどが痛い」等、風邪の症状がある時は、身近な医療機関に、まず電話でご相談ください。
- ・詳しくは、下記の京都市ホームページをご覧ください。

○京都市情報館「発熱等の症状のある方の診療・検査体制について」

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000277047.html>

【参考情報】

- 厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- 京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第1週

疾病,行政区別報告数

2021年1月4日～2021年1月10日

データ入手日:2021年1月13日

	インフル エンザ（※1）	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	-	1	-	10	1	-	-	1	-	-	-	-					
中京	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-							
山科	-	-	-	5	-	-	-	-	1	-	-	-	2					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-							
右京	-	-	7	10	5	3	-	-	-	-	2	-	-					
伏見	-	-	3	6	27	-	-	-	1	-	-	-	-					
西京	-	-	-	1	7	2	-	-	1	-	-	-	-					
京都市計	1	-	12	22	55	6	-	-	4	1	2	-	2	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフル エンザ（※1）	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	-	0.25	-	2.50	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-					
中京	-	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.33	-	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-							
山科	-	-	-	1.00	-	-	-	-	0.20	-	-	-	2.00					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-							
右京	-	-	1.40	2.00	1.00	0.60	-	-	-	-	0.40	-	-					
伏見	-	-	0.43	0.86	3.86	-	-	-	0.14	-	-	-	-					
西京	-	-	-	0.20	1.40	0.40	-	-	0.20	-	-	-	-					
京都市計	0.01	-	0.28	0.51	1.28	0.14	-	-	0.09	0.02	0.05	-	0.20	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。
※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第1週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年1月4日～2021年1月10日

データ入手日:2021年1月13日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳以上	30歳～	40歳～				
	年齢4	総数	0歳	1歳～	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱		12	-	1	6	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		22	-	-	3	1	2	4	3	1	2	-	-	2	-	4						
感染性胃腸炎		55	-	5	6	5	6	7	1	3	2	1	1	10	2	6						
水痘		6	-	1	-	-	1	2	-	1	-	-	-	1	-	-						
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		4	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳以上	30歳～	40歳～				
	年齢4	総数	0歳	1歳～	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱		0.28	-	0.02	0.14	0.09	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.51	-	-	0.07	0.02	0.05	0.09	0.07	0.02	0.05	-	-	0.05	-	0.09						
感染性胃腸炎		1.28	-	0.12	0.14	0.12	0.14	0.16	0.02	0.07	0.05	0.02	0.02	0.23	0.05	0.14						
水痘		0.14	-	0.02	-	-	0.02	0.05	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-						
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.09	-	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第1週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年1月13日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	1	－	－	1	1
RSウイルス感染症		－	－	－	－	1	－
咽 頭 結 膜 熱		9	18	15	8	1	12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		29	19	35	20	14	22
感染性胃腸炎		51	78	71	79	30	55
水 痘		8	7	6	7	2	6
手 足 口 病		－	1	3	1	－	－
伝 染 性 紅 斑		－	－	1	1	－	－
突発性発しん		17	6	10	10	6	4
ヘルパンギーナ		4	9	4	4	1	1
流行性耳下腺炎		1	－	1	1	－	2
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		－	5	－	2	－	2
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		119	144	146	133	56	105

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	0.01	－	－	0.01	0.01
RSウイルス感染症		－	－	－	－	0.02	－
咽 頭 結 膜 熱		0.21	0.42	0.35	0.19	0.02	0.28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.67	0.44	0.81	0.47	0.33	0.51
感染性胃腸炎		1.19	1.81	1.65	1.84	0.70	1.28
水 痘		0.19	0.16	0.14	0.16	0.05	0.14
手 足 口 病		－	0.02	0.07	0.02	－	－
伝 染 性 紅 斑		－	－	0.02	0.02	－	－
突発性発しん		0.40	0.14	0.23	0.23	0.14	0.09
ヘルパンギーナ		0.09	0.21	0.09	0.09	0.02	0.02
流行性耳下腺炎		0.02	－	0.02	0.02	－	0.05
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		－	0.50	－	0.20	－	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		2.77	3.72	3.40	3.25	1.29	2.59

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。